

非営利特定法人分子分子データ応用フォーラム

平成 26 年度第 1 回理事会

1. 開催場所 村上理事長自宅および首都大学東京 8 号館 499 号室 (Skype)
2. 日時 平成 26 年 5 月 13 日(火) 13:00～
3. 現在の理事と出席理事 理事総数 3 名中出席理事 3 名
鈴木 (村上) 泉、佐々木明、田沼肇
オブザーバー 小池文博監事、池田圭
4. 配布資料
資料 1 平成 25 年度事業報告案
資料 2 平成 25 年度会計報告案
資料 3 平成 26 年度事業計画および収支予算案
5. 議案
第 1 号議案 平成 25 年度定期総会の議案について
(1) 平成 25 年度事業報告案、会計報告案について
(2) 平成 26 年度事業計画および収支予算案について
第 2 号議案 作業分担 (会報担当) について
第 3 号議案 報告事項 (法人市民税減免申請について)

【議事の審議状況】

第 1 号議案 平成 25 年度定期総会の議案について

(1) 平成 25 年度事業報告案、会計報告案について

村上理事長、佐々木副理事長の説明の通り承認された。

(2) 平成 26 年度事業計画および収支予算案について

原子分子データ応用フォーラムセミナーについて、基礎科学 (核融合) から産業
応用 (EUV 光源) までの、プラズマの分光解析を主な対象として、原子分子デー
タやシミュレーションに関する研究課題の調査を行うことを目的とし、9 月 11-12
日に開催することとした。

「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会では、
原子分子データベースの拡充および、応用研究開発への寄与を目指し、専門家のネ
ットワークの構築を行い、プラズマプロセスのシミュレーションのユーザーの理解
の普及に努めることとした。

メーリングリスト、ホームページの運営を継続し、「ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用に関する作業部会」においては、Facebook 等の活用可能性の検討を継続して行うこととした。

原子衝突学会年会、ISPlasmas 会議の協賛を行うこととした。

以上の事業内容について、事業計画書、収支予算書を作成し、総会に諮ることとした。

第2号議案 作業分担（会報担当）について

今井誠氏に今年度会報担当（会費編集補助）を打診することになった。

第3号議案 報告事項（法人市民税減免申請について）

村上理事長から、土岐市の法人市民税の減免が認められた旨報告された。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人が記入押印する。

平成 26 年 6 月 6 日

非営利特定法人原子分子デベロップメント研究会

議長

鈴木 泉



議事録署名人

佐々木 明



議事録署名人

田沼 肇

